

2020年11月5日発行 会報第1032号

今週のプログラム

(2020年11月5日 第1032回例会)

国際奉仕・財団・米山フォーラム

担当：松田 国際奉仕・財団委員長
木下 米山委員長

次週のプログラム

(2020年11月12日 第1033回例会)

移動例会

ファイアーサイドミーティング

担当：黒川 親睦委員長

第1031回例会 (2020年10月29日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆様、こんばんは。本日は国際ロータリー第2660地区の簡 仁一ガバナーにお越し頂いております。また、地区幹事で茨木 RC の鈴木 一正様・同じく地区幹事で茨木西 RC の山本 高司様にもご同席頂いております。本日の例会、何卒よろしくお願い致します。

簡 仁一ガバナーにおかれましては、我々千里メイプル RC が属する第2660地区 IM 第2組の茨木 RC の所属ということで非常に親近感を持たせていただける方で、以前には2組のガバナー補佐も歴任されておられ幾度かは当クラブにもお見えいただきお世話になったこともございます。あらためて本日はよろしくお願い致します。茨木 RC のホームページを拝読いたしましたところ、会員インタビューというのがありまして興味深く拝読いたしました。特になるほど、と感じましたのが、茨木 RC は各地のロータリークラブとつながりを持っておられ、今何が役にたてるかの情報を収集して活動をされていることです。東日本大震災が3月11日に起こった時に素早くランドセルを送られたということや、漁業組合への支援の情報収集の仕方などが掲載されていました。奉仕活動と申しましても、ともすれば奉仕する側の理屈で奉仕内容も一方通行になっていないか、また奉仕活動で送らせてもらう品物は相手側にとって適切な物なのか、適切なタイミングなのかなど、非常に考えておられるなど感銘を受けました。我々千里メイプル RC も奉仕意欲は満々ですが今申しました事を参考にして今後の活動を進めてまいります。本日も早くから例会場に来ていただき、いろいろなご相談にもお答えいただきましたが、この後、お話を会員一同で聞かせていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

<地区大会のご案内>

地区幹事の鈴木一正様と山本高司様より地区大会のご案内がありました。



<お客様>RI 第 2660 地区ガバナー 簡 仁一様(茨木 RC) 地区幹事 鈴木 一正様(茨木 RC)
地区幹事 山本 高司様(茨木西 RC)

<出席報告> 高尾 修 SAA
会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名
本日の出席者数 10 名
(内免除会員 1 名)
(名誉会員 0 名)
本日の出席率 58.82%
10月のホームクラブ出席率 71.21%

<ロータリーソング> 全会員
♪我等の生業♪

<本日のピアノ曲> 近藤 美里さん
1. 秋の色は恋の色
2. Gentle Mind
3. 慕情

<寄付表彰>

ロータリー財団

♣メジャードナー 藤田 芳浩会員



<幹事報告> 山本 友亮会長 代読

1. 本年9月に大阪大学産業科学研究所に免疫異常に関する研究費の助成を致しましたが
そのお礼状及び領収書が大阪大学総長 西尾章治様・千里 RC 吉崎和幸様から届きましたので
回覧致します。
2. 福島21RCより、会報及び年次計画書が届きましたので回覧致します。

<委員会報告>

親睦委員会

移動例会の案内状と地図を配布致します。皆様ご参加をよろしくお願い致します。

*日時：11月12日(木) 18:00集合 18:30~20:00頃まで

*会場：がんこ「池田 石橋苑」〒563-0032 池田市石橋3-3-18 TEL.072-760-3888

社会奉仕委員会

地区より国連支援募金の要請が参りましたので、ご協力をお願い致します。

プログラム担当

前期の改訂版プログラムをレターケースに配布致しました。11月の予定の変更をご確認下さい。

< SAA報告 >

高尾 修 SAA

※スマイルボックス

水島会員 簡ガバナー様 本日はありがとうございます。
藤田会員 ガバナー 簡 仁様 ようこそ！！本日は宜しくお願ひします。
村田会員 ガバナーようこそ、よろしくお願ひします。
相原会員 コメントなし

※ロータリー財団

黒川会員 ガバナーようこそ！！
高尾会員 ファインセッションは来週に致します。

※米山記念奨学会

黒川会員 めっきり寒くなって来ました。
藤田会員 地区幹事 鈴木様、山本様 本日、宜しくお願ひします！！
高尾会員 簡ガバナー様、本日はよろしくお願ひします。

※ラオス基金

相原会員 コメントなし

※メイプル基金

山本会員 簡ガバナー 本日よろしく御願ひ致します。
水本会員 簡ガバナー ようこそ！！ 例会欠席し、申し訳ありません。
黒川会員 ガバナー 今日はよろしく！！
藤田会員 11月12日移動例会 皆様御参加 宜しくお願ひします。
松田会員 ガバナー いらっしやいませ。
高尾会員 コメントなし

□■□■□■□ガバナー公式訪問□■□■□■□

2020～2021年度 RI 第2660地区ガバナー 簡 仁様

千里メイプルロータリークラブの皆様こんばんは。2020～2021年度地区ガバナーを務めさせて頂いている茨木RCの簡 仁でございます。新型コロナウイルスの拡大を受けて、山本会長様・水本幹事様・クラブ役員の皆様におかれましては、厳しい環境の下、クラブ運営に力を尽くして頂きまして、心よりお礼を申し上げます。

コロナウィルスで今年度の為の地区研修や協議会が全て中止となりました。本日で64クラブの公式訪問を終えましたが、お目にかかるのがほとんど初めての方ばかりで、マスクをしてお顔がわからないのですが、千里メイプルRCの方々にはマスクをしてお顔でするのでホームクラブに帰ってきたような気持ちで訪問させて頂いています。

ロータリーの原点である例会も奉仕活動もことごとく中止になり、物理的な距離を取り、顔と顔を合わせる機会も制限される事になってしまいましたが、ロータリー活動を取り組む中、人と人が切り離される事が余儀なくされる今こそ、お互いを思いやる心と心の繋がりを大切に、絆を深めて、知恵を出し合い、ロータリアン同士工夫して、励ましあって前に進んで行きましょう。

ホルガー・クナークRI会長テーマ

「Rotary Opens Opportunities」～ロータリーは機会の扉を開く～

クナーク会長は、このテーマについて、ロータリーがクラブに入会するというだけではなく、「無限の機会への招待である」という思いを込めた、と語っておられます。

「奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーである」と力説され、「ロータリーは、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる」とも述べられました。

そのうえで、「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」と強調されました。

このRI会長のテーマに基づき、2020-21年度第2660地区の年次目標を6項目掲げました。

1. 会員基盤の強化

年代、職業、男女の別いずれにおいても、多様な会員を受け入れる柔軟性と、ロータリーの基本的な価値観を再認識し、クラブのあり方を方向づける「クラブビジョン」を作成しましょう。問題意識を共有し、会員の退会を防ぐ姿勢を、だれもが持ち続ける必要があります。

2. ポリオの根絶

現在、ポリオウイルス株の2型、3型は根絶され、あとは1型だけです。日本時間8月26日に、WHOが、アフリカでポリオが根絶されたと宣言しました。これにより、ポリオの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけとなりました。ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶこととなります。世界中で根絶されるまで活動を続けていきましょう。

3. 青少年の活動を支援

未来を担う若い世代を支援し、リーダーを育てることは、ロータリアンの使命です。当地区は、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、米山奨学生、ロータリー学友などの青少年プログラムに積極的に取り組んでいます。ロータリアンと青少年がともに活動できる奉仕の機会を、さらに作っていきましょう。

4. ロータリー財団活動の推進

ロータリー財団は、ロータリーの奉仕プロジェクトを支える柱です。年次基金は、3年後の奉仕活動の資源となり、恒久基金は将来のロータリー活動を担保し、ポリオ基金はウイルスとの闘いの象徴です。ご理解いただき、ご協力をよろしく申し上げます。

5. 米山記念奨学会活動の推進

日本と海外との懸け橋となる米山奨学生の支援をお願いします。4月から継続を含めて、49名の米山奨学生が、皆さんのクラブでお世話になっております。未来を担う若い力を応援してください。

6. IT化の推進と公共イメージの向上

IT化は避けては通れません。My Rotaryの登録、クラブセントラルの活用をぜひ、よろしくお願いします。ロータリーについて知ってもらうための一番の広告塔は、ロータリアン自身です。会員以外の人にも、ロータリーに親しんでもらう機会をつくっていきましょう。

私は、地区スローガンを決定するにあたって、3つのことを考えました。

① 基本の再認識を

ロータリーは変わったのか、という声をよく耳にしますが、私はそうは思いません。2019年-20年度の新しい標準ロータリークラブ定款は、表現が多少異なっているとはいえ、基本となる考え方は従来と同じです。それは、すなわち、四つのテスト、超我の奉仕、中核的価値観といったロータリーの価値観です。

そして、ロータリーは、こうした価値観を共有する人たちの集まりであり、だからこそ、確かな信頼関係が築かれているのです。今こそ、ロータリーの基本を再認識しましょう。

② 誇りと自信を持って

ロータリーで、私は、多くの尊敬できる先輩の皆さん、多くの信頼できる友人を得ることができました。一人ではなかなかできない奉仕活動に取り組むことができ、その活動を通して、大きな感動を得ることもできました。

こうした素晴らしい集まりの会員であることに改めて意識を向け、ロータリアンとしての誇りと自信を、皆さんに持っていただきたいと思います。

③ 未来をつくる

時代に対応する多様性、柔軟性、適応力がなければ、ロータリーの未来を創っていくことはできません。例えば、SF映画のように、過去に戻って、今を変えることはできないのです。

しかし、未来は、私たちの手の中にあります。私たちが未来をつくっていくことができるのです。

私は、こう呼びかけたいと思います。

ロータリーの**基本**を再認識してください。

ロータリアンとしての誇りと自信を持ってください。

そして、一緒にロータリーの**未来**をつくっていきましょう。

そこで、地区スローガンは

「**Back to the Basics and Fly to the Future**」

（ロータリーの基本に戻って、新しい未来へ）

の意味を込めて

BACK, To the FUTURE

～基本に戻って、未来へ～

とさせていただきます。

これから一年間、クラブの皆さまとともに、基本を見つめ直して考え、歩んでまいりたい
と思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

